

ライフケアガーデン湘南 3階

症 例 概 要 利用者：70代 男性 要介護5

利用期間：令和2年 6月 ～ 令和6年3月現在

既往歴：くも膜下出血、高血圧、脂質異常症、発作性上室性頻頻拍、胃瘻、気管切開

経過：くも膜下出血後遺症で意思疎通不可、表情の変化もない状態でした。

ご家族の協力を得ながら、今までの経歴を踏まえた職員の親身な対応で表情に変化が見られました。

「こんなに良くしてくれる施設は無いです。感謝しています」と、ご家族が感動され感謝のお言葉を頂けた事例です。

内 容

魚類学者。うなぎ研究の第一人者で数多くの著書があり、内閣総理大臣賞受賞など多くの功績を残されている方です。

令和元年海外の学会から帰国後、くも膜下出血発症し重症。病院で治療し状態安定され令和2年6月当ホーム入居となりました。

気管切開・胃瘻造設で寝たきり状態。お散歩や近所の公園にご案内しましたが、表情の変化は見られませんでした。

令和4年、ご利用者が執筆された本と、小学生達による動画付き研究発表をご家族が持参されました。介護職員が本の読み聞かせを行うと、少し笑顔が見られました。

同年、生物に関する賞を受賞され、ご家族にスーツを持参して頂きホームで表彰式を行いました。ご家族に囲まれ記念写真を撮影すると、とても良い表情が見られました。

ご入所者は、海洋学に関する内容を見て聞く事で良い反応が見られる事が分かりました。寝たきりのご利用者に楽しんで頂きたい、良い反応が見たいと言う事で、水族館へご案内する計画をご家族の協力を得ながら進める事になりました。吸引器など必要物品を看護師と打ち合わせ、車椅子乗車姿勢をリハビリと打ち合わせ、他部署連携して進めました。

当日は奥様と医師と看護師である2人の娘様とお孫様が同行されました。水族館にある「皇室ご一家の研究コーナー」では奥様から皇室の方へ教えていたという思い出を話され、潜水艦の展示コーナーでは、潜水艦に乗っていた話をされていました。

キラキラした目で展示物を見られているご本人を見て、ご家族もキラキラした表情で喜ばれていました。「こんなに良くしてくれる施設は他に無いです。感謝しています」と感謝の言葉を頂き、7つのクライアントである、『ご家族』に『安心をこえた感動』を提供する事ができました。

今後もしもご入居者だけでなく、ご家族にも喜んでいただけるようourteamで親身な対応に努めてまいります。